

Ⅱ. 結果の要約

1 出生数は減少

出生数は 6,464 人で、前年の 6,658 人より 194 人減少した。
出生率（人口千対）は 6.9 で、前年の 7.0 を下回った。
合計特殊出生率は 1.52 で、前年の 1.50 を上回った。

2 死亡数は増加

死亡数は 12,772 人で、前年の 12,619 人より 153 人増加した。
死亡率（人口千対）は 13.6 で、前年の 13.3 を上回った。
死因別に見ると、死因順位の第 1 位は悪性新生物、第 2 位は心疾患、第 3 位は老衰であり、全死亡者に占める割合は、それぞれ 25.7 %、17.3 %、9.3 %となっている。

3 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△ 6,308 人で、前年の△ 5,961 人より 347 人減少した。
自然増減率（人口千対）は △ 6.7 で、前年の△ 6.3 を下回った。
平成 10 年以降は、毎年死亡数が出生数を上回っている。

4 死産数は減少

死産数は 150 胎で、前年の 155 胎より 5 胎減少した。
死産率（出産千対）は 22.7 で、前年の 22.8 を下回った。

5 婚姻件数は減少

婚姻件数は 4,040 組で、前年の 4,061 組より 21 組減少した。
婚姻率（人口千対）は 4.3 で、前年の 4.3 と同率となった。

6 離婚件数は減少

離婚件数は 1,714 組で、前年の 1,771 組より 57 組減少した。
離婚率（人口千対）は 1.83 で前年の 1.87 を下回った。

※表中の数値は、四捨五入によっているもので、端数において合計が一致しない場合がある。